

Ⅲ 地域保健班

1 母子保健事業

- (1) 母子保健事業体系
- (2) 医療費給付申請・相談
- (3) 長期療養児療育指導事業
- (4) 関係機関との連携
- (5) 先天性代謝異常児のフォローアップ

2 難病対策

- (1) 難病対策の概要
- (2) 特定医療費（指定難病）受給者状況
- (3) 難病医療講演会及び相談会の実施状況
- (4) 患者家族交流会及び自主活動支援
- (5) 訪問相談事業
- (6) 訪問診療事業
- (7) 在宅難病療養者支援関係者研修会及び事例検討会
- (8) 在宅難病療養者支援関係者連絡会議等
- (9) 特定疾患治療研究事業
- (10) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

3 原爆被爆者対策事業

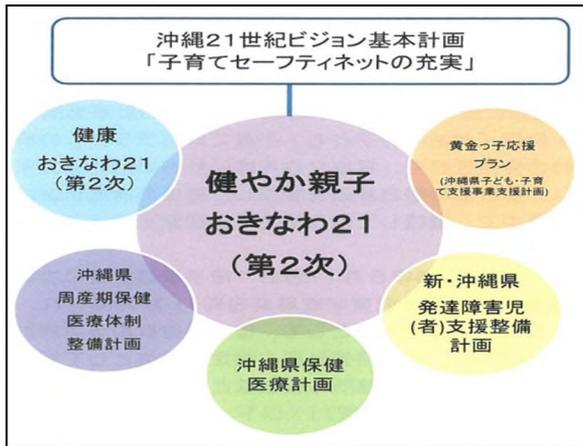
- (1) 事業内容
- (2) 被爆者健康診断の状況

4 特定町村支援

- (1) 事業の背景
- (2) 保健所の支援体制
- (3) 「沖縄県保健師等人材確保支援計画」第11次の概要
- (4) 令和6年度特定町村支援実施状況

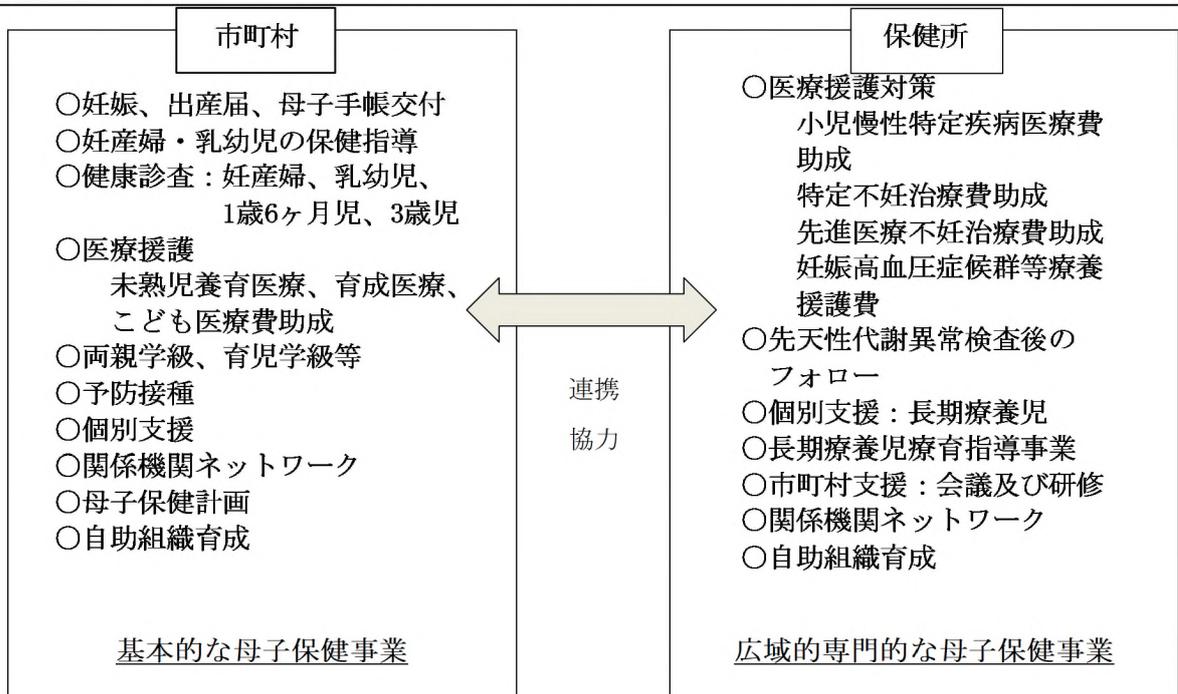
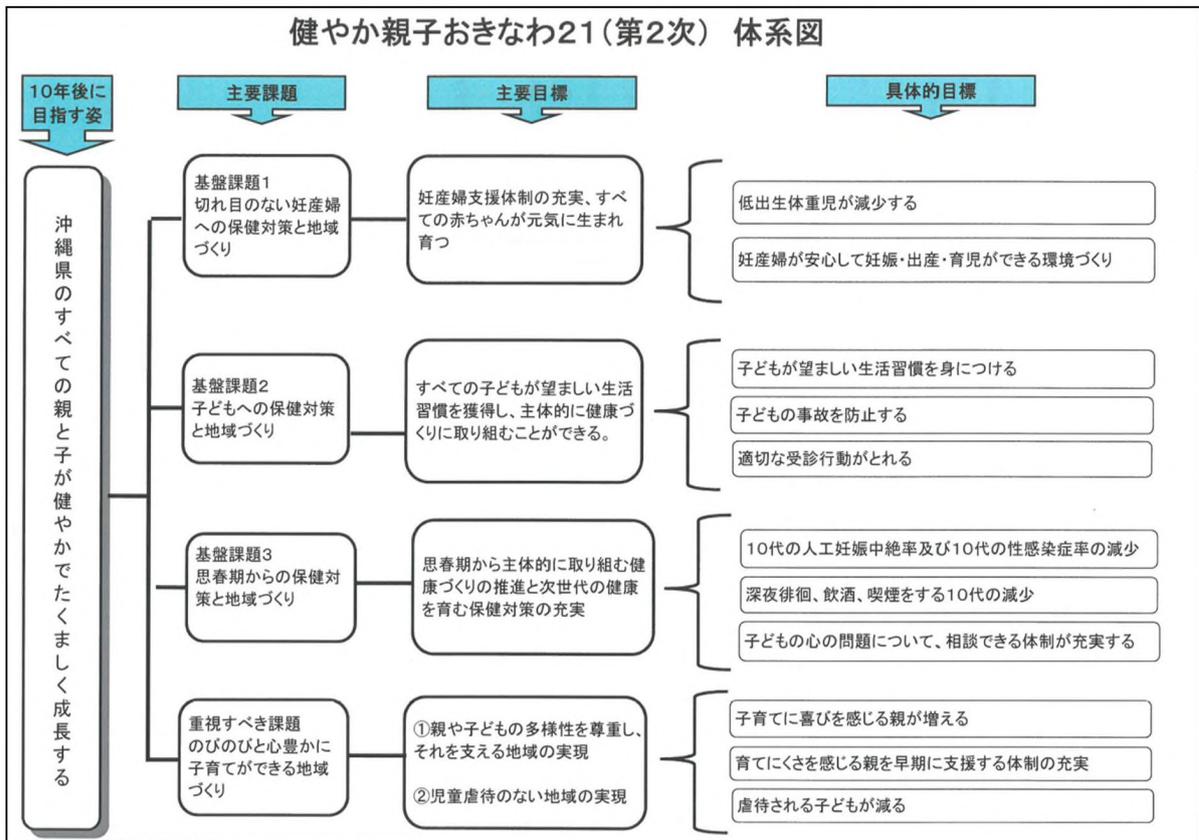
1 母子保健事業

(1) 母子保健事業体系



沖縄県の母子保健計画「健やか親子おきなわ2010」は平成13年度に策定され、以降計画期間の延長や名称の変更を経て平成26年度に計画終期を迎えた。平成27年度からは10年間を計画期間とした「健やか親子おきなわ21(第2次)」が策定され、令和6年度に計画終期を迎えた。前計画の最終評価と国の成育医療等基本方針を踏まえ、令和7年度に新たな計画の策定を予定としている。

沖縄県のすべての親と子が健やかでたくましく成長することを目指す計画の趣旨を踏まえ、保健所は管内市町村と協力・連携して活動している。



(2) 医療給付申請・相談

ア 小児慢性特定疾病医療費助成制度

根拠：児童福祉法第19条の2、沖縄県小児慢性医療費支給認定実施要綱

目的：小慢児童等の健全育成の観点から、小児慢性特定疾病医療支援に係る医療費の一部を助成し、小慢児童等家庭の医療費の負担軽減を図る。

対象者：小児慢性特定疾病に罹患し、当該疾病の状態においても児童福祉法の規定に基づき定める程度である18歳未満の児童等（継続が認められる場合は最大で20歳の誕生日前日まで）

対象疾病：現在16疾患群788疾病（包括的病名を除く）が対象となっている。

また、令和7年4月から新たに13疾病が加わり、801疾病となる予定。

表1 疾患区分別経年的受給状況

疾患分類 年度	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]	[13]	[14]	[15]	[16]	計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・心疾患	慢性消化器疾患	症候群 染色体又は 遺伝子に 変化を伴う	皮膚疾患群	骨系統疾患	脈管系統疾患	
令和2年度	80	78	86	223	403	24	45	26	14	6	95	38	18	4	15	1	1156
令和3年度	80	68	66	183	380	26	42	23	12	8	100	37	22	4	22	1	1074
令和4年度	71	71	65	171	368	19	48	26	11	6	104	39	22	5	21	1	1048
令和5年度	66	71	61	158	313	21	51	24	13	9	108	36	16	4	20	1	972
令和6年度	60	70	62	156	286	28	55	24	14	8	102	37	15	5	21	1	944

※【15】【16】の2疾患群については平成30年4月1日から新たに追加された。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、小児慢性特定疾病医療受給者証の有効期間が自動で1年間延長される措置がなされたため、一時的に受給者が増えている。

表2 受給種別疾患区分状況（令和7年3月末時点）

疾患分類 種別	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]	[13]	[14]	[15]	[16]	計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・心疾患	慢性消化器疾患	症候群 染色体又は 遺伝子に 変化を伴う	皮膚疾患群	骨系統疾患	脈管系統疾患	
重症患者認定基準該当件数 (高額治療継続及び人口呼吸器等装着 認定基準該当を除く)	3	4	18	15	1	-	-	-	-	-	28	2	1	-	-	-	72
人口呼吸器等装着基準該当件数	1	-	22	4	2	-	-	4	-	-	10	-	6	-	2	-	51

表3 疾患区分市町村別受給内訳（令和7年3月末時点）

疾患分類 市町村	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]	[13]	[14]	[15]	[16]	計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・心疾患	慢性消化器疾患	症候群 染色体又は 遺伝子に 変化を伴う	皮膚疾患群	骨系統疾患	脈管系統疾患	
浦添市	12	14	15	34	99	6	17	8	5	4	17	10	3	2	8	-	254
糸満市	7	14	6	22	23	7	8	1	3	-	16	4	2	-	2	-	115
豊見城市	11	15	14	28	33	4	10	5	1	-	20	9	3	1	3	-	157
南城市	3	5	6	17	22	4	3	2	1	-	9	4	3	-	1	-	80
西原町	5	8	3	15	42	-	5	5	1	-	7	2	2	-	2	-	97
与那原町	5	1	5	5	18	-	1	-	-	2	5	-	1	-	-	-	43
南風原町	6	5	8	16	23	2	8	2	2	1	14	2	1	1	2	1	94
八重瀬町	7	6	2	14	17	3	2	1	-	1	9	5	-	1	2	-	70
久米島町	1	1	2	3	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	15
渡嘉敷村	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
座間味村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
粟国村	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
渡名喜村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
南大東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
北大東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
その他	2	-	2	1	4	2	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	16
計	60	69	63	156	286	28	55	24	14	8	102	37	15	5	21	1	944

イ 先進医療不妊治療費助成事業

根拠：沖縄県先進医療不妊治療費助成事業助成金交付実施要綱（令和4年4月1日施行）

目的：令和4年度からの不妊治療の保険適用への移行が決定されたものの、一部の治療については保険適用外となったことから、保険適用外となった不妊治療の内、先進医療に告示された不妊治療に対して助成することで、子どもを望む夫婦の経済的負担を軽減し県内の少子化対策の推進を図る。

助成対象：令和4年4月1日以降に不妊治療を開始し終了した者。

夫又は妻が沖縄県内に居住していること（那覇市を除く）。

治療期間の初日における妻の年齢43歳未満であること。

対象治療：先進医療として告示された不妊治療を実施しているとして地方厚生局に届け出を行い承認されている医療機関で受けた先進医療

助成内容：1回の不妊治療につき先進医療に係る額に10分の7を乗じた額を助成（基準額の範囲内）。助成回数は厚生労働局が規定する保険診療の回数制限に準じる回数とし、治療期間の初日における妻の年齢が40歳未満の場合は6回／1子、40歳以上の場合は3回／1子とする。

助成回数：初回申請時の妻の治療開始年齢に応じて通算3回または6回まで。

初回申請時における妻の治療開始時の年齢	助成回数
40歳未満	43歳になるまで通算6回まで
40～42歳	43歳になるまで通算3回まで
43歳以上	助成なし

申請期間：4月1日～翌年3月31日まで（治療が終了した年度内の申請）

表4 先進医療不妊治療費助成申請状況（件数）

市町村別	浦添市	糸満市	南城市	豊見城市	南風原町	八重瀬町	西原町	与那原町	久米島町	渡嘉敷村	粟国村	南大東村	渡名喜村	北大東村	座間味村	合計
令和5年度	149	55	59	54	66	53	9	47	5	3	4	-	-	-	-	504
令和6年度	126	40	47	84	52	49	19	17	2	2	-	2	-	-	1	441

表5 申請者(妻)の年齢別内訳(人数)

年齢	20～29歳	30～39歳	40～42歳	43歳	計
令和5年度	22	291	191	-	504
令和6年度	24	261	156	-	441

ウ 妊娠高血圧症候群等療養援護費事業

根拠：妊娠高血圧症候群等療養援護費支給要綱

概要：妊娠高血圧症候群等に罹患している妊産婦が必要な医療を受けるため入院した場合、その療養に要する費用の一部を支給する（平成9年度より県単独事業）。

表6 妊娠高血圧症候群等療養援護費給付状況

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件数	2	-	-	-	-	-

エ 不育症検査費用助成事業

根拠：「母子保健医療対策総合支援事業の実施について」の別紙母子保健医療対策総合事業の実施要綱の別添12

沖縄県不育症検査用助成事業要綱

概要：2回以上の流産、死産の既往がある人を対象に、流産検体を用いた染色体検査を受けた申請者に対し、5万円以内の助成を行う。（助成回数の制限なし）
 令和4年4月1日以降は染色体検査においては保険適用となり除外。
 令和4年12月1日より新たに助成対象検査に流死産検体を用いた遺伝子検査が追加。遺伝子検査については、1回の検査にかかる費用の7割に相当する額とし、6万円を上限とする。
 申請状況（件数）は、令和3年度は3名、令和4～6年度は0名。

（3）長期療養児療育指導事業

目的：長期にわたり療育医療を必要とする児童に対して、適切な療育を確保するために、生活実態等を把握するとともに、その状況に応じた適切な指導を行い、長期療養児の日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図る。

ア 訪問指導

表7 家庭訪問状況

年度	種別		その他		合計	
	実	延	実	延	実	延
令和2年度	41	70	-	-	41	70
令和3年度	26	45	1	1	27	46
令和4年度	25	55	5	5	30	60
令和5年度	30	66	-	-	30	66
令和6年度	30	71	-	-	30	71

保健師が、人工呼吸器管理や酸素療法を行っている医療依存度の高い児等に対して、家庭訪問を実施している。

家庭訪問を通して、疾患の受け止めや家族の育児負担状況を確認し、関係機関と連携しながら在宅での療養生活を支援している。

イ 保護者学習会交流会

長期にわたり療育を必要とする児童および家族が療養生活における不安を軽減し、児の健全な成長発達が促され、同じ疾患の児を持つ家族同士で療養に関する情報や悩みを共有できるよう、学習会や交流会を実施している。

日時	事業内容	講師	開催回数	参加人数	
				対象児	保護者・その他
R7.2.4	電源確保等の災害対策について	難病相談支援センター長 照喜名 通 氏	1	0	2

ウ 療育相談事業（巡回相談事業）

長期にわたり療育を必要としている児童について、日常生活における健康の保持増進と福祉の向上を図ることを目的に、より良い療育を確保するため、医師、保健師、理学療法士等、関係職種と調整の上、療養児の家庭を訪問し在宅での療育に必要な相談指導を行う。

※令和6年度実施なし

(4) 関係機関との連携

目的：管内市町村における母子保健事業の現状や課題等について情報交換を行い、母子保健活動の円滑な推進を図る。

対象：管内市町村保健師・母子保健担当者・産科医療機関関係者等

ア 市町村母子保健に関する情報交換会

市町村	日付	場所	内容
渡嘉敷村	11月21日	Zoom	① 母子の把握、母子保健事業について ② 気になる事例（要支援事例）について ③ 子育て支援地域連票の様式について
南大東村			
座間味村	11月25日		
栗国村	11月26日		
渡名喜村			
北大東村			
久米島町	11月27日		

イ 母子保健担当者会議

日時	令和6年7月30日（火）14：00～16：00
場所	南部保健所 2階中会議室
参加者	① 25名（本島内市町村16名、保健所7名）
内容	(1) 議題 ・子育て支援地域連絡票の返書様式（簡易版）の追加について (2) 情報共有・意見交換 ・こども家庭センターの設置について ・産後ケア事業、その他母子保健事業について ・低出生体重児に関する対策について ・健診未受診者に関する対策について ・メンタルヘルス対策について

ウ 市町村・産科医療機関連携会議 ※令和6年度は実施なし
 (参考：令和5年度実施内容)

日時	令和6年2月15日(水) 14:00~16:00
場所	沖縄県総合福祉センター
参加者	10市町村、12医療機関、保健所(40名)
内容	①多機関で支援する際の情報共有について ②妊婦健診未受診、産後うつ等について ③身体合併症、育児手技獲得の支援について

エ 母子保健関係者研修会

日時 ・ 参加者	(1) 令和6年11月21日(木) 15:00~16:30 渡嘉敷村2名、南大東村1名 (2) 令和6年11月25日(月) 15:00~16:30 座間味村1名 (3) 令和6年11月26日(火) 11:30~12:00 粟国村1名、渡名喜村2名、北大東村3名 (4) 令和6年11月27日(水) 15:30~16:00 久米島町2名
方法	オンライン(Zoom)開催
内容	(1) 伝達研修「こども家庭センター設置に向けて」

オ 医療的ケアを要する在宅長期療養児支援機関連絡会
 表8 開催状況

年度	開催日	内容	対象
R6	R7.2.20	※在宅難病療養者地域支援関係者連絡会議と合同開催 ・南部保健所管内の在宅療養者(児)の状況、取組について ・管内市町より台風災害等の医療的ケア児(者)への対応、取組等について ・管内市町の取組や課題等について意見交換	管内8市町(本島)の防災担当課、医療的ケア児(者)支援担当課

(5) 先天性代謝異常児のフォローアップ

目的：新生児を対象に、マス・スクリーニング検査を行い、先天性代謝異常等を早期に発見し、早期治療を促すことで障害の発現を予防する。

対象疾患：29 疾患

※平成 26 年 10 月からタンデムマス検査導入により対象疾患が 6 疾患から拡大

※平成 29 年 7 月 7 日付け国通知により、CPT 2 欠損症を一次疾患に追加したため、検査対象疾患は合計 20 疾患となった。

※令和元年 11 月より FT4 検査が開始され、中枢性甲状腺機能低下症を発見できるようになった。

※令和 6 年 11 月 1 日より 9 疾患追加され、29 疾患となった。

検査方法：生後 5～7 日目（日齢 4～6 日）の新生児のかかとから、少量の血液を濾紙にしみこませ、専門の検査機関へ送付する。

保健所の役割：精密検査未受診児等の受診状況確認及び受診勧奨

2 難病対策

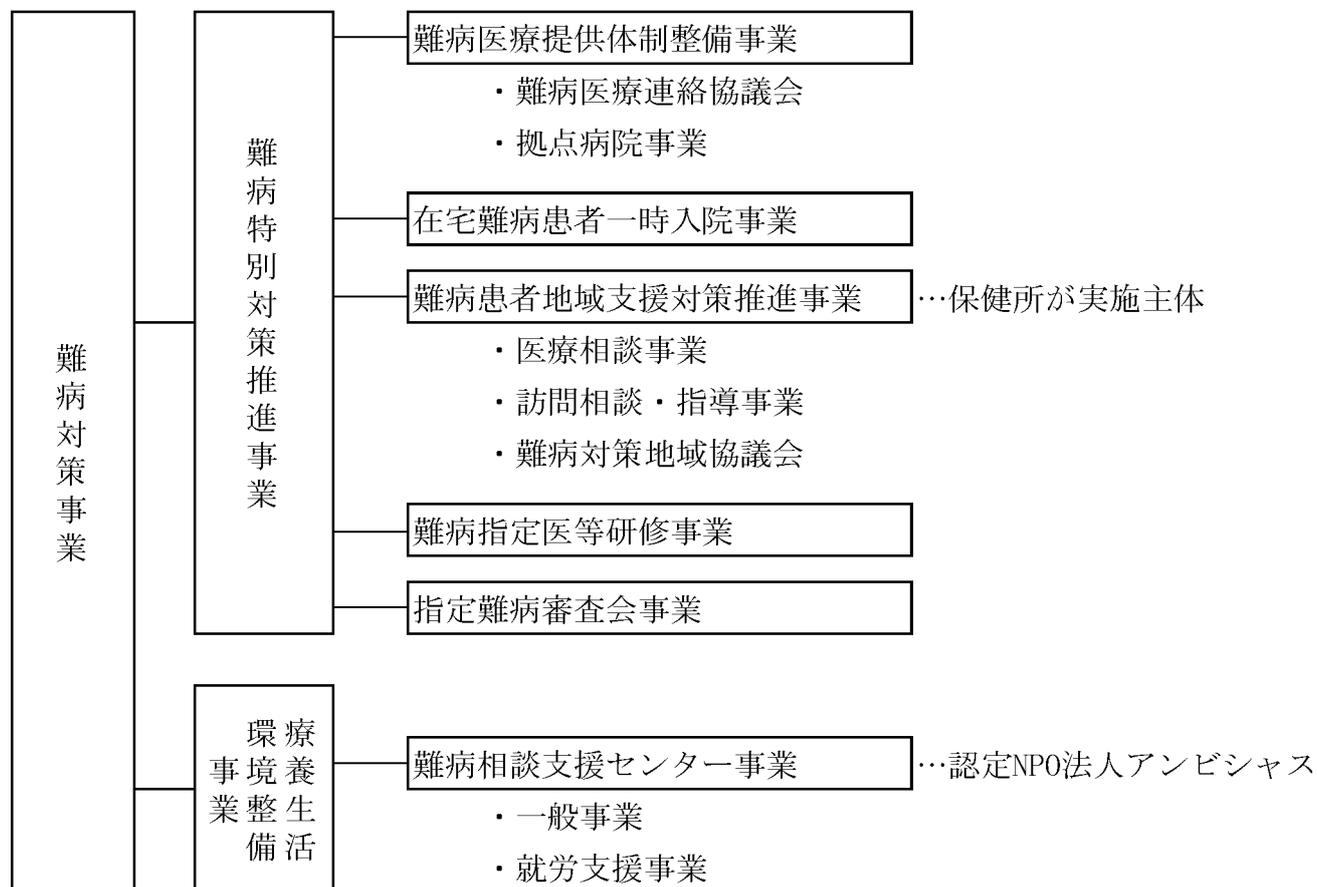
(1) 難病対策の概要

難病（難病の患者に対する医療等に関する法律（以下難病法）より）とは、発病の機構が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とすることとなるものをいう。わが国の難病対策は昭和47年に策定された「難病対策要綱」に基づいて実施されてきたが、難病対策をさらに充実させ、難病の患者に対する良質・適切な医療の確保と療養生活の維持向上を図ること目的として、平成27年1月から難病法が施行された。

難病対策のひとつである医療費助成制度は、旧制度の特定疾患治療研究事業（以下旧事業）で対象疾病となっていた56疾病に対し、医療費助成の対象となる指定難病は平成27年1月難病法施行に伴い110疾病が指定、同年27年7月には第2次実施分の疾病が加わり306疾病が対象となった。その後、平成29年4月に24疾病、平成30年4月に1疾病、令和元年7月に2疾病、令和3年11月に5疾病、令和6年4月に3疾病が追加され、あわせて341疾病が助成の対象となっている。

また、令和7年4月からは、さらに7疾病が追加され348疾病となる予定。

保健所では指定難病の医療費助成制度の経由事務及び難病対策事業等を実施している。また、難病法施行前の特定疾患治療研究事業の対象のうち、指定難病以外の疾病を引き続き医療費助成としている同事業及び先天性血液凝固因子障害等治療研究事業に基づく医療費助成制度の経由事務を行っている。



(2) 特定医療費（指定難病）受給者状況

ア 受給者証交付数

管内の受給者証交付件数は近年横ばいで推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で有効期間が自動で1年間延長となった翌年以降の令和元年度、令和2年度は受給者数が一時的に増加した後は微増減で推移。令和6年度は前年比179の増に転じている。

表1 受給者証交付状況（令和6年度）

単位：件

疾病 告示 番号	疾 病 名	南部保健所管内			沖縄県 全体 (令和6年 度)
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
1	球脊髄性筋萎縮症	0	0	0	8
2	筋萎縮性側索硬化症	24	28	29	96
3	脊髄性筋萎縮症	8	9	11	62
4	原発性側索硬化症	1	1	1	3
5	進行性核上性麻痺	53	58	55	223
6	パーキンソン病	423	455	462	1569
7	大脳皮質基底核変性症	20	21	21	62
8	ハンチントン病	1	1	1	17
9	神経有棘赤血球症	0	0	0	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	2	1	20
11	重症筋無力症	102	107	114	395
12	先天性筋無力症候群	0	0	0	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	51	52	58	186
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	16	15	20	69
15	封入体筋炎	0	0	0	4
16	クロウ・深瀬症候群	0	0	0	4
17	多系統萎縮症	18	18	23	86
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	52	53	58	148
19	ライソゾーム病	13	11	9	23
20	副腎白質ジストロフィー	0	0	0	7
21	ミトコンドリア病	9	13	12	33
22	もやもや病	37	35	34	115
23	プリオン病	2	1	0	5
24	亜急性硬化性全脳炎	2	2	2	11

25	進行性多巣性白質脳症	0	0	1	1
26	HTLV-1 関連脊髄症	24	26	27	79
27	特発性基底核石灰化症	0	0	1	2
28	全身性アミロイドーシス	9	9	9	39
29	ウルリッヒ病	1	1	1	2
30	遠位型ミオパチー	1	1	2	4
31	ベスレムミオパチー	0	0	0	0
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	0	0	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	0	0	1
34	神経線維腫症	9	11	12	36
35	天疱瘡	16	17	15	42
36	表皮水疱症	0	0	0	2
37	膿疱性乾癬（汎発型）	6	5	5	34
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	0	0	1
39	中毒性表皮壊死症	0	0	0	1
40	高安動脈炎	17	19	19	63
41	巨細胞性動脈炎	11	13	14	45
42	結節性多発動脈炎	3	3	2	16
43	顕微鏡的多発血管炎	32	30	34	107
44	多発血管炎性肉芽腫症	5	6	6	33
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	26	32	37	102
46	悪性関節リウマチ	8	8	8	58
47	バージャー病	0	0	0	8
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	5	5	4	19
49	全身性エリテマトーデス	370	370	377	1273
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	83	86	92	329
51	全身性強皮症	71	71	71	232
52	混合性結合組織病	36	34	34	121
53	シェーグレン症候群	93	103	114	401
54	成人発症スチル病	9	13	12	49
55	再発性多発軟骨炎	4	3	3	14
56	ベーチェット病	29	25	23	90
57	特発性拡張型心筋症	66	63	61	193
58	肥大型心筋症	7	5	7	26
59	拘束型心筋症	0	0	0	0
60	再生不良性貧血	26	31	29	101

61	自己免疫性溶血性貧血	2	5	3	8
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	2	4	14
63	特発性血小板減少性紫斑病	45	46	48	145
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	2	2	10
65	原発性免疫不全症候群	11	15	16	40
66	IgA 腎症	77	91	108	304
67	多発性嚢胞腎	39	43	44	132
68	黄色靱帯骨化症	26	27	33	142
69	後縦靱帯骨化症	109	112	107	433
70	広範脊柱管狭窄症	15	18	17	52
71	特発性大腿骨頭壊死症	55	57	63	257
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	19	18	22	43
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0	0	1	1
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	4	5	7	19
75	クッシング病	2	1	1	6
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7	9	9	30
78	下垂体前葉機能低下症	90	94	101	243
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	3	2	2	7
80	甲状腺ホルモン不応症	1	1	1	1
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3	3	3	7
82	先天性副腎低形成症	0	0	0	0
83	アジソン病	5	5	7	10
84	サルコイドーシス	48	46	51	162
85	特発性間質性肺炎	28	29	49	181
86	肺動脈性肺高血圧症	19	23	22	75
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6	6	6	43
89	リンパ脈管筋腫症	2	2	2	7
90	網膜色素変性症	150	154	147	394
91	バッド・キアリ症候群	2	2	2	5
92	特発性門脈圧亢進症	1	1	1	6
93	原発性胆汁性胆管炎	120	113	114	383
94	原発性硬化性胆管炎	3	5	5	12
95	自己免疫性肝炎	12	15	20	74
96	クローン病	158	152	154	560

97	潰瘍性大腸炎	326	341	338	1134
98	好酸球性消化管疾患	4	4	6	19
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0	1
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	0	0	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0	0	0	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	0	0	1
103	CFC 症候群	0	0	0	0
104	コステロ症候群	0	0	0	1
105	チャージ症候群	0	0	0	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	1	1	1	1
107	若年性特発性関節炎	2	3	2	13
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0	0	0	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	0	0	0
110	ブラウ症候群	0	0	0	1
111	先天性ミオパチー	1	1	1	4
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー	39	41	41	120
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	2	2	3	3
115	遺伝性周期性四肢麻痺	5	5	8	10
116	アトピー性脊髄炎	0	0	0	1
117	脊髄空洞症	5	5	4	10
118	脊髄髄膜瘤	1	2	2	6
119	アイザックス症候群	0	0	0	0
120	遺伝性ジストニア	1	1	1	4
121	脳内鉄沈着神経変性症	0	0	0	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	0	0	0
123	H T R A 1 関連脳小血管病	0	1	2	3
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	5	6	8	21
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	0	0	0
126	ペリー病	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	2	3	6	23
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	2	1	5
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	1	0	0	0
130	先天性無痛無汗症	0	0	0	0
131	アレキサンダー病	2	2	2	2
132	先天性核上性球麻痺	1	1	1	1

133	メビウス症候群	0	1	1	1
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0	0
135	アイカルディ症候群	0	0	0	1
136	片側巨脳症	0	0	1	1
137	限局性皮質異形成	0	0	0	0
138	神経細胞移動異常症	0	0	0	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	0	0	0
140	ドラベ症候群	1	1	1	2
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	0	0	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	0	0	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	0	0	0
144	レノックス・ガストー症候群	2	2	1	5
145	ウエスト症候群	2	3	3	7
146	大田原症候群	0	0	0	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	0	0	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0	1
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0	0
150	環状 20 番染色体症候群	0	0	0	0
151	ラスムッセン脳炎	0	0	0	1
152	P C D H19 関連症候群	0	1	1	1
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	0	0	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	0	0	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0	0
156	レット症候群	0	0	0	2
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0	1
158	結節性硬化症	4	4	3	22
159	色素性乾皮症	1	1	1	3
160	先天性魚鱗癬	0	0	0	1
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	0	0	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	16	13	13	46
163	特発性後天性全身性無汗症	0	0	1	9
164	眼皮膚白皮症	0	0	0	1
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	0	0	1
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	0	0	0
167	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	8	7	7	17
168	エーラス・ダンロス症候群	0	0	0	5

169	メンケス病	0	0	0	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0	0	0	0
171	ウィルソン病	5	6	6	15
172	低ホスファターゼ症	1	1	1	2
173	VATER 症候群	0	0	0	0
174	那須・ハコラ病	0	0	0	0
175	ウィーバー症候群	0	0	0	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	0	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0	0	0	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	0	0	0
179	ウィリアムズ症候群	1	0	0	2
180	A T R - X 症候群	0	0	0	0
181	クルーゾン症候群	0	0	0	0
182	アペール症候群	0	0	0	0
183	ファイファー症候群	0	0	0	0
184	アントレー・ピクスラー症候群	0	0	0	0
185	コフィン・シリス症候群	0	0	0	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	0	0	0
187	歌舞伎症候群	0	0	0	0
188	多脾症候群	2	2	2	7
189	無脾症候群	2	2	2	6
190	鰓耳腎症候群	0	0	0	0
191	ウェルナー症候群	0	0	0	0
192	コケイン症候群	0	0	0	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	1	1	1	2
194	ソトス症候群	0	0	0	1
195	ヌーナン症候群	0	0	0	1
196	ヤング・シンプソン症候群	0	0	0	0
197	1 p36 欠失症候群	0	0	0	0
198	4 p 欠失症候群	0	1	1	1
199	5 p 欠失症候群	1	1	1	1
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0	0	0	1
201	アンジェルマン症候群	0	0	0	1
202	スミス・マギニス症候群	0	0	0	0
203	22q11.2 欠失症候群	0	0	0	3
204	エマヌエル症候群	0	0	0	0

205	脆弱 X 症候群関連疾患	0	0	0	1
206	脆弱 X 症候群	0	0	0	0
207	総動脈幹遺残症	0	0	0	2
208	修正大血管転位症	2	2	2	8
209	完全大血管転位症	3	4	3	13
210	単心室症	4	3	5	17
211	左心低形成症候群	0	1	1	1
212	三尖弁閉鎖症	1	2	2	5
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	5	6	6	11
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	0	1	5
215	ファロー四徴症	9	9	12	33
216	両大血管右室起始症	1	1	2	6
217	エプスタイン病	1	1	1	3
218	アルポート症候群	0	0	0	2
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	0	0	4
221	抗糸球体基底膜腎炎	5	4	3	14
222	一次性ネフローゼ症候群	49	53	58	179
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	0	0	9
224	紫斑病性腎炎	1	4	6	15
225	先天性腎性尿崩症	0	0	0	1
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	8	8	10	18
227	オスラー病	1	1	1	5
228	閉塞性細気管支炎	1	1	1	1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	0	1	4
230	肺胞低換気症候群	2	2	2	4
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	0	0	0
232	カーニー複合	0	0	0	1
233	ウォルフラム症候群	0	0	0	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	1	1	1	8
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	0	1	3
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	0	0	4
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0	0
240	フェニルケトン尿症	1	1	1	3

241	高チロシン血症 1 型	0	0	0	0
242	高チロシン血症 2 型	0	0	0	0
243	高チロシン血症 3 型	0	0	0	0
244	メープルシロップ尿症	0	0	0	0
245	プロピオン酸血症	0	0	0	1
246	メチルマロン酸血症	0	0	0	0
247	イソ吉草酸血症	1	1	1	0
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	0	0	0	0
249	グルタル酸血症 1 型	0	0	0	0
250	グルタル酸血症 2 型	0	0	0	0
251	尿素サイクル異常症	0	0	0	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	0	0	0
254	ポルフィリン症	1	1	1	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0	0
256	筋型糖原病	0	0	0	0
257	肝型糖原病	1	0	1	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	1
260	シトステロール血症	0	0	0	0
261	タンジール病	0	0	0	0
262	原発性高カイロミクロン血症	1	1	1	1
263	脳臍黄色腫症	1	1	2	9
264	無βリポタンパク血症	0	0	0	0
265	脂肪萎縮症	0	0	0	0
266	家族性地中海熱	1	2	2	11
267	高IgD症候群	0	0	0	0
268	中條・西村症候群	0	0	0	0
269	化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群	0	0	0	1
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	0	0	0
271	強直性脊椎炎	7	9	10	85
272	進行性骨化性線維異形成症	0	0	0	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0	1
274	骨形成不全症	2	3	3	5
275	タナトフォリック骨異形成症	0	0	0	0
276	軟骨無形成症	0	0	0	1

277	リンパ管腫症/ゴーム病	0	0	0	0
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0	0	0	0
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	0	0	0	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	0	0	0	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1	1	1	2
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	5	8	7	28
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1	1	1	1
285	ファンコニ貧血	0	0	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0	0	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0	1	2	6
289	クロンカイト・カナダ症候群	0	1	2	5
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	0	0	2
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0	0	0	0
292	総排泄腔外反症	0	0	0	1
293	総排泄腔遺残	1	0	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	0	0	0	2
297	アラジール症候群	0	0	0	2
298	遺伝性膵炎	0	0	0	1
299	嚢胞性線維症	0	0	0	1
300	I g G 4 関連疾患	3	4	9	19
301	黄斑ジストロフィー	0	1	2	4
302	レーベル遺伝性視神経症	0	0	0	1
303	アッシャー症候群	1	1	1	2
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0	0	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	45	64	84	257
307	カナバン病	0	0	0	0
308	進行性白質脳症	0	0	0	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	0	0	0
310	先天異常症候群	0	0	0	1
311	先天性三尖弁狭窄症	0	0	0	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	0	0	0

313	先天性肺静脈狭窄症	0	0	0	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	0	0	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0	0	0	0
316	カルニチン回路異常症	0	0	0	1
317	三頭酵素欠損症	0	0	0	0
318	シトリン欠損症	0	0	0	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0	0	0	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0	0	0	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0	0	0	0
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0	0	0	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	0	0	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0	0	0	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0	0	0	0
326	大理石骨病	0	0	0	1
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0	0	0	1
328	前眼部形成異常	0	0	0	1
329	無虹彩症	1	1	0	1
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0	0	0	4
331	特発性多中心性キャッスルマン病	6	6	7	31
332	膠様滴状角膜ジストロフィー		0	0	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群		0	0	0
334	脳クレアチン欠乏症候群		0	0	0
335	ネフロン癆		0	0	0
336	家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）		0	0	0
337	ホモシスチン尿症		0	0	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症		0	0	0
339	MECP2重複症候群			0	0
340	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）			0	1
341	TRPV4異常症			0	0
合 計		3,487	3,655	3,834	12,906

※疾病番号 332～333 は令和元年 7 月 1 日から、334～338 は令和 3 年 11 月 1 日から、
339～341 は令和 6 年 4 月 1 日から施行

※令和 4 年度～令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日時点）において、
沖縄県全体又は南部保健所管内で受給者がいる疾病についてのみ数値を計上

イ 年齢別・男女別受給者数

年齢別では、60歳以上の受給者が全体の約半数を占めている。また男女別では、全受給者のうち約6割が女性、約4割が男性となっている。

図1 年齢別受給者数（令和6年度）

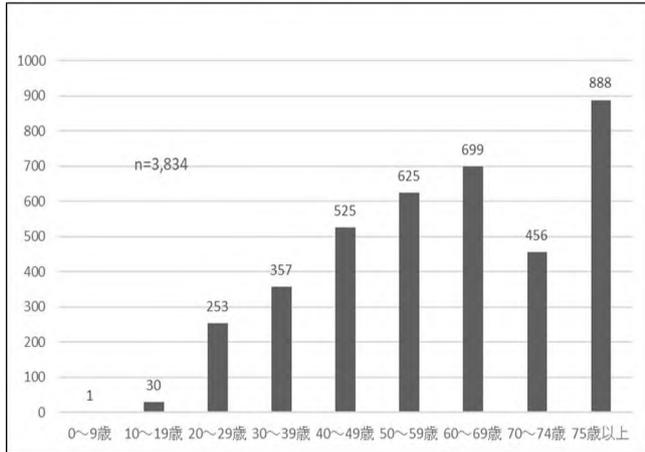
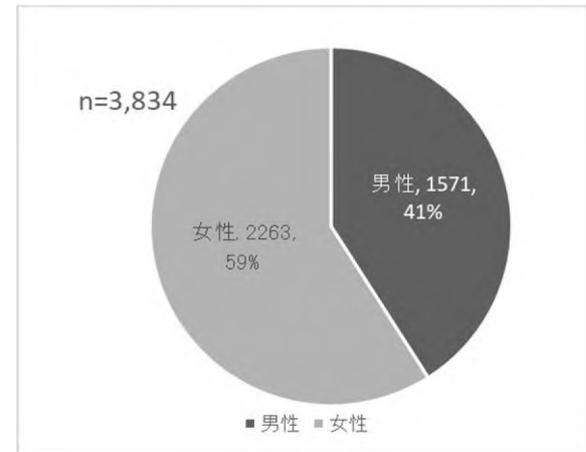


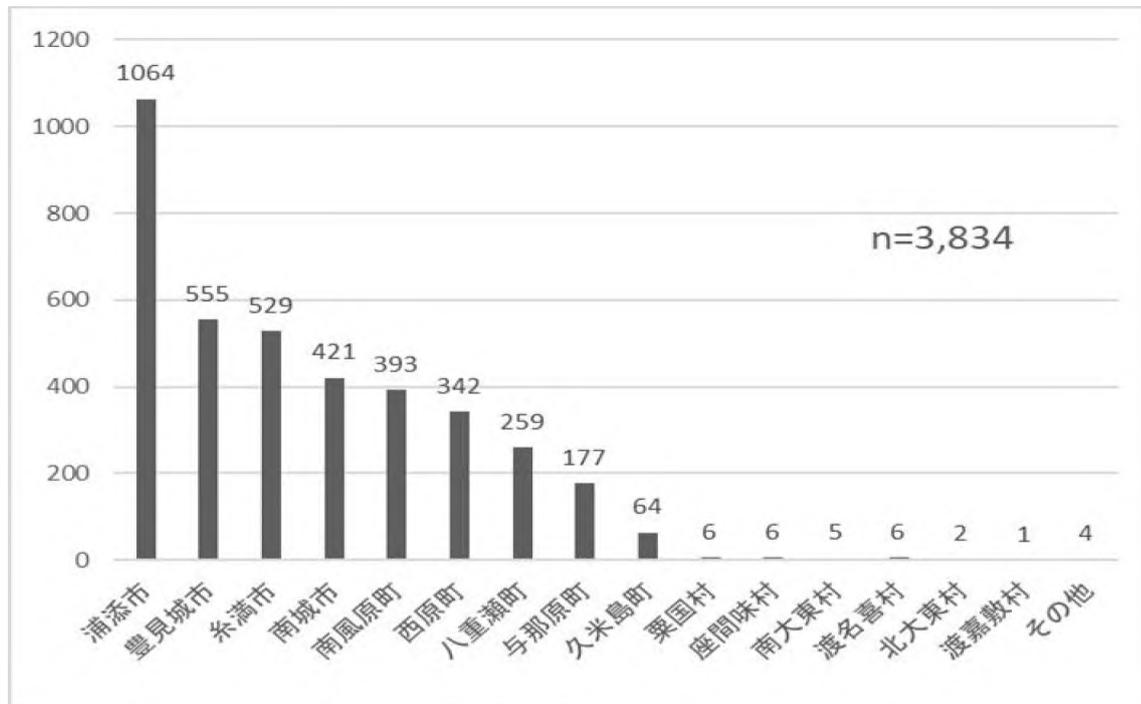
図2 性別受給者割合（令和6年度）



ウ 市町村別受給者数

管内受給者の居住市町村は浦添市が最も多く、豊見城市・糸満市と続く。

図3 市町村別受給者数（令和6年度）



(3) 難病医療講演会及び相談会の実施状況

難病患者及びその家族に対し、療養上の不安や悩みを軽減するために、疾病に対する理解を深め、在宅療養者のQOLの向上を図ることを目的に実施している。

日時	内容	講師	参加者
R7.2.4	在宅呼吸器装着者の電源確保等の災害対策について	難病相談支援センター長 照喜名 通 氏	家族2名 (現地1名、web1名)

(4) 患者家族交流会及び自主活動支援

ア 難病患者及び家族交流会

患者及び家族相互の交流や情報交換の機会を設けることにより、療養生活におけるQOL向上を図ることを目的に実施している。

※令和6年度は、難病医療講演会及び相談会と併せて実施

日時	内容	参加者
R7.2.4	在宅呼吸器装着者の患者家族交流会	家族2名 (現地1名、web1名)

イ 自主活動支援

自主活動支援として、新規申請や更新申請での面接の場や訪問等を通じ、患者会の紹介、各患者会の企画する総会や講演会等の案内を行っている。また、沖縄県難病相談・支援センターアンビシャスの会報誌を通じて、患者会情報を得られるようアンビシャスの紹介等も行っている。

【県内の主な患者会】

日本ALS協会、全国パーキンソン病友の会、もやの会（もやもや病）、クローン病・潰瘍性大腸炎友の会、全国膠原病友の会、MS（多発性硬化症・視神経脊髄炎）友の会、全国筋無力症友の会、網膜色素変性症協会（JRPS）、OPLL（後縦・黄色靭帯骨化症）友の会、脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の会、沖縄サルコイドーシス友の会、等

(5) 訪問相談事業

保健師が在宅の重症難病患者、家族の生活の実態を把握し、訪問により療養や介護に関する相談指導を行う。また、必要な医療・保健・福祉サービス等の情報提供を実施している。

対象疾病は筋萎縮性側索硬化症を含む神経難病を中心に訪問等の支援を実施。

支援内容としては、人工呼吸器装着や胃瘻造設等医療依存度の高い患者及び家族の疾患の受け止めや家族の介護負担状況、また在宅療養に不可欠である福祉・介護保険等のサービスの利用状況等を確認し、関係機関と連携しながら患者及び家族が安心して療養生活を送ることができるよう支援している。

表2 家庭訪問状況

年度	種別	指定難病		その他		合計	
		実	延	実	延	実	延
令和2年度		17	27	0	0	17	27
令和3年度		12	17	0	0	12	17
令和4年度		16	30	0	0	16	30
令和5年度		21	60	0	0	21	60
令和6年度		12	23	0	0	12	23

(6) 訪問診療事業

在宅難病患者に対して、専門医、理学療法士、保健師等による訪問を行い、日常生活の相談や情報提供、介護方法等の相談を行い、在宅難病療養者・家族の身体的、精神的負担の軽減及び生活の質の向上を図る目的で実施している。

※令和6年度実施なし

(7) 在宅難病療養者支援関係者研修会及び事例検討会

難病療養者やその家族に保健医療サービス、福祉サービスを提供する支援者に対し、難病に関する知識の普及や資質の向上を図るため研修会を実施している。

開催日	内容	参加数	参加機関
令和6年 7月19日	<p>テーマ</p> <p>①「災害について考えてみよう！！～傾向と過去の災害から学ぶ7つの教訓～」 講師：沖縄県南部療育センター 小児科医師 宮城 大雅 氏</p> <p>②「在宅で使用できる発電機やバッテリーとは？」 講師：認定 NPO 法人アンビシャス 沖縄県難病相談支援センター センター長 照喜名 通 氏</p>	86名 (53機関)	訪問介護事業所、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所、相談支援事業所、市町村、その他

(8) 在宅難病療養者地域支援関係者連絡会議等

地域における在宅難病療養者への支援体制に関する課題について情報を共有し、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行っている。

開催日	内容	参加数	参加機関
令和7年 2月20日	管内市町の在宅療養者（児）への災害対策 推進にむけた情報交換 （1）南部保健所管内の在宅療養者（児） の状況・取組について （2）管内市町より台風災害等の医療的ケア 児（者）への対応・取組等について （3）管内市町の取組や課題等について意 見交換	19名 （8機関）	市町（防災担当 課、医療的ケア 児（者）支援担 当課）

(9) 特定疾患治療研究事業

難病法施行前の特定疾患治療研究事業の対象疾患のうち、指定難病以外の4疾患（スモン、プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る）、劇症肝炎（※）、重症急性膵炎（※））については引き続き医療費助成事業を実施している。令和6年度の管内受給者は0名である。

（※平成26年12月31日から引き続き認定を受けているものに限る。）

(10) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子障害等患者の医療費自己負担分を、公費で負担する事業である。患者の医療費負担軽減を図り、精神的・身体的不安を軽減することを目的とする。平成元年から平成11年までは申請窓口は本庁であったが、平成12年2月から各保健所が窓口となり、当事業の円滑な適正医療の推進を図っている。

表3 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業受給者の年次推移

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
交付件数	19	20	21	22	21

3 原爆被爆者対策事業

沖縄県は「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、健康診断及び医療の給付並びに諸手当支給を行っている。

各保健所においては、健康診断等に関する事業の実施や健康相談等を通して、被爆者の健康管理に努めている。

令和6年3月末現在、県内には70人の被爆者が在住しており、そのうち南部保健所管内には全被爆者の約18%にあたる13人が在住している。

(1) 事業内容

ア 健康診断に関する業務

※委託医療機関（南部医療センター・こども医療センター、那覇市立病院、浦添協同クリニック）において実施。

- (ア) 前期健康診断
- (イ) 後期健康診断
- (ウ) 希望による健康診断
- (エ) 二世健康診断

(2) 被爆者健康診断の状況

前期及び後期健康診断実施時に、希望者に対して健康相談を実施するほか随時相談を受けている。また、健康診断未受診者に対しては受診勧奨し、必要に応じて訪問指導を実施している。

令和6年度の健康診断受診対象者は、前期健康診断時13人、後期健康診断時13人、希望健康診断時13名で、受診者は延べ5人。

表1 管内被爆者健康診断受診状況（令和6年度）

	受診者数	がん検診受診者数	がん検診内訳（延人数）					多発性骨髄腫
			胃	肺	乳	子宮	大腸	
前期健康診断	3	3	1	1	-	-	-	-
後期健康診断	2	2	1	2	1	1	1	2
希望による健康診断	-	-	-	-	-	-	-	-
二世健康診断	8							

4 特定町村支援

(1) 事業の背景

平成9年地域保健法の施行により、地域保健における保健所と市町村の役割が明確化され、住民に身近な保健サービスは市町村の責務となった。市町村は地域住民の健康保持増進を図るため、保健師等の専門職種を自らの責任で採用することとなった。それに伴い、沖縄県は昭和26年以来の保健婦駐在制度を廃止した。

過渡的措置として人材確保が困難な保健師未配置離島等小規模町村に対しては、保健所が業務受託支援を行った。(平成9年度から平成11年度)

平成12年度以降は地域保健法第24条に基づき「沖縄県特定町村保健師等人材確保支援計画」(以下「県支援計画」)を策定し特定町村の地域保健対策が円滑に推進されるよう、人材確保支援、資質向上支援、技術支援などの支援を行っている。

県支援計画は3年毎に計画の見直しがあり、第10次計画(平成30年度から令和4年度※新型コロナウイルス感染流行の影響により2年延長)では、人材育成支援として「離島へき地の保健師確保対策事業(沖縄県看護協会委託)」において、退職保健師等(コーディネーター)による現任教育支援が追加された。現行の第11次計画(令和5年度～令和9年度)から5年計画となり支援内容が(1)人材確保の支援、(2)資質向上の支援、(3)不在町村への支援の3つに整理され、栄養士の確保・人材育成支援についても盛り込まれた。

南部保健所管内の離島7町村(久米島町・渡嘉敷村・座間味村・粟国村・渡名喜村・南大東村・北大東村)は特定町村支援の対象である。特定町村から支援の申出を受け、保健所は新任保健師の現任教育、地域保健活動の評価支援、会議・研修等を行っている。支援計画作成のため特定町村に出向き、支援内容を調整している。また必要時、現場で指導を担当する看護協会コーディネーターと保健所で調整会議を行い、情報共有及び支援の方向性を確認している。

(2) 保健所の支援体制

保健所は、県支援計画(第11次)に基づき、地域保健班に特定町村支援担当保健師を配置し、特定町村・看護協会と調整しながら、特定町村支援を行っている。

保健所内の精神保健班や健康推進班などの他班からの支援については、特定町村の申出内容により必要に応じて各班の担当とも情報共有・調整会議を行うとともに、特定町村支援所内調整会を開催し、支援状況の共有を図っている。また、特定町村支援担当保健師や看護協会コーディネーターが把握した保健事業の課題については、関連する班との調整会議を随時開催し、具体的な特定町村支援につないでいる。

(3) 「沖縄県特定町村保健師等人材確保・育成支援計画」 第11次の概要

計画期間：令和5年度～令和9年度

特定町村

下記の条件であてはまる町村

- ①離島町村
- ②人口1万人未満で、かつ地理的条件等により町村の自助努力では保健師等の人材確保、資質向上が困難であり、県への申出のある町村とする。

支援の申出書提出

支援

沖縄県

地域保健法第24条に基づき、保健師等人材確保支援計画の策定

目的：地域保健活動に必要な人材の確保及び資質向上を図る

保健医療総務課

保健師の人材確保支援・計画策定総括

地域保健課

保健師の資質向上支援

保健所

北部保健所、南部保健所、宮古保健所
八重山保健所

特定町村の実情を把握し、組織的に支援主に現任教育等の支援

関係機関・関係団体

保健師養成機関：看護系大学（3カ所）

雇用紹介機関：公共職業安定所など

その他：沖縄県看護協会

事業

1. 人材確保の支援

- ア. 退職保健師・潜在保健師の人材バンク事業（県看護協会へ委託）
- イ. 退職保健師・潜在保健師の人材登録を行い町村の求人に対してマッチングを行う。
- イ. 離島の保健師募集に係る広報・離島の保健活動紹介のホームページにおいて町村の保健師募集の記事を掲載する。また、県が県内の看護系大学において離島の保健活動の紹介を行う。
- ウ. 栄養士の確保支援
- ウ. 県及び保健所は原栄養士会と調整し、人材紹介窓口の情報提供を行う。

2. 資質向上の支援

- ア. 新任保健師の現任教育
- イ. 保健所は特定町村新任保健師現任教育実施要領に基づき、特定町村の新任保健師の現任教育を1年間実施する。
- イ. 新任保健師現任教育支援事業（県看護協会へ委託）
- イ. 特定町村の新任保健師を対象に、退職保健師等が特定町村及び保健所と調整を図り、新任保健師の現任教育支援を行う。
- ウ. 地域保健活動の評価支援
- ウ. 保健所は、町村が行う地域保健活動について、その目的や目標をはじめとした保健事業の進め方をPDCAサイクルに基づき具体的に確認し、町村において地域保健活動の評価ができるよう支援する。
- エ. 会議・研修等
- エ. 保健所は、必要に応じ会議や研修会を開催して特定町村の地域保健対策が円滑に実施できるよう支援する。
- オ. 栄養士の人材育成支援
- オ. 県及び保健所は特定町村で地域保健活動を行う管理栄養士・栄養士が必要とする研修・会議を企画し実施する。

3. 不在町村の支援

- ア. 保健師不在の町村への支援
- イ. 保健所は、保健師が不在の期間における保健事業等（保健・福祉・介護事業）が停滞しないように町村や関係機関と調整を行い保健事業等が推進できるように支援を行う。
- イ. 栄養士不在の町村への支援
- ウ. 県及び保健所は原栄養士会と調整し、人材紹介窓口の情報提供を行う。

(4) 令和6年度特定町村支援実施状況

ア 支援実績

支援体制の充実		○支援窓口：地域保健班に特定町村支援担当保健師を1名配置(兼任) 特定町村・看護協会・所内関係班との調整を行う
		○看護協会コーディネーターとの特定町村支援調整会議 特定町村支援の実施状況や現地支援に向けた情報交換など随時開催
		○特定町村支援調整会：年1回（令和6年度は開催なし） 支援体制の確認や特定町村支援方針の共有 参加者：特定町村支援担当保健師、地域保健班長、保健健康総括 精神保健班長、健康推進班長
		○所内の他班との調整会議 特定町村の健康課題について所内の関係班との調整会議を随時開催
		○各事業班による支援 1) 母子保健事業について 2) 精神保健福祉事業について（巡回相談・個別支援・関係者会議等） 3) 健康増進事業について 4) 歯科保健について フッ化物洗口マニュアル作成・実施支援（久米島町） 5) 予防接種及び感染症対策について 予防接種スケジュール相談（北大東村） 6) その他 管内特定町村情報交換会（各班で実施）
資質向上支援	現任教育支援	○新任保健師の現任教育（座間味村、北大東村） 経験チェックシートの確認、保健事業・個別支援状況の確認・助言、 1年間の事業まとめ ○看護協会コーディネーターによる支援（座間味村、北大東村） 同伴訪問、健診事業実施 等
	地域保健活動の 評価支援	○PDCAに基づいた保健事業の実施について 栗国村（特定健診・特定保健指導、健康教室実施等） ○保健事業報告会（ZOOM開催） 座間味村（令和7年2月21日）、北大東村（令和7年3月11日）
	研究会 修議等・	（研修会） ○新任期保健師研修会（令和7年1月14日） 参加：久米島町、座間味村、北大東村
村への支援	保健師不在町	○令和6年度は保健師不在町村なし